

CKD

第94期
株主通信
2013.4.1~2014.3.31

CKD株式会社

証券コード :6407

株主・投資家の皆様へ



代表取締役社長 梶本 一典

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第94期(2013年4月1日から2014年3月31日まで)の営業の概況および決算内容につきましてご報告申し上げます。

2014年3月期のわが国経済は、雇用と所得環境が改善し、個人消費や住宅投資は好調に推移いたしました。また、補正予算による公共投資の伸びもあり、国内需要は年間を通して堅調に推移いたしました。

一方、海外経済についても中国をはじめとするアジア新興国の経済成長の勢いに減速感が出たものの安定した成長が続きました。また、米国は堅調な民間需要を背景に景気回復が持続し、欧州でも景気持ち直しの動きが見られました。

このような状況のもとで、当社グループの当期における連結業績は、売上高75,491百万円(前期比16.1%増)、営業利益7,883百万円(前期比143.0%増)、経常利益8,136百万円(前期比131.3%増)、当期純利益5,456百万円(前期比122.5%増)となりました。

2015年3月期のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を一時的に受けつつも、追加された経済対策による公共投資が本格化することで景気を下支えするものと見込まれます。また、海外景気回復による輸出増加や2014年1月に施行された産業競争力強化法により、企業業績の更なる改善が期待されます。

当社グループでは前期からスタートさせた中期経営計画「GLOBAL CKD 2015」に基づき、国内外の成長業種と新興国を含めた海外市場への取り組みをさらに強化してまいります。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり10円とさせていただきます。また、昨年12月にお支払いした中間配当金1株当たり8円と合わせて、年間配当金は1株当たり18円となりました。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

当社グループは、2013年度よりスタートした中期経営計画「GLOBAL CKD 2015」に基づき、中長期的な経営戦略のもとで、次の通り対処すべき課題に取り組んでまいります。

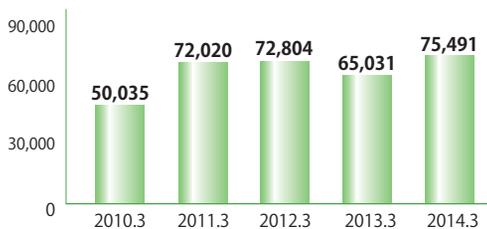
- ①商品のGLOBAL化
- ②販売のGLOBAL化
- ③生産のGLOBAL化

2015年度 業績目標

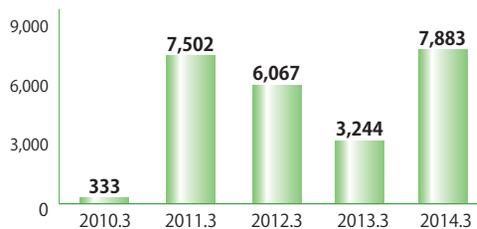


財務ハイライト(連結)

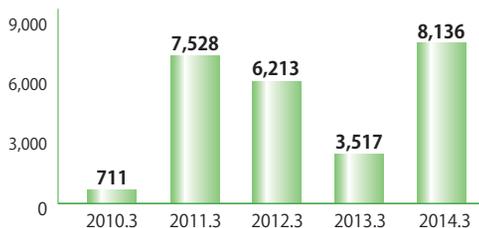
売上高 (単位: 百万円)



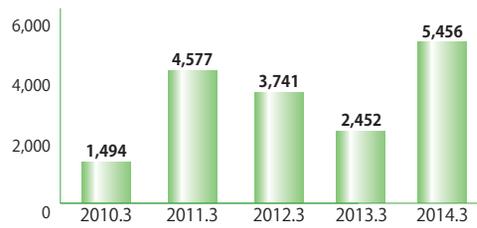
営業利益 (単位: 百万円)



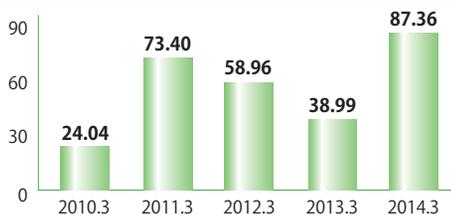
経常利益 (単位: 百万円)



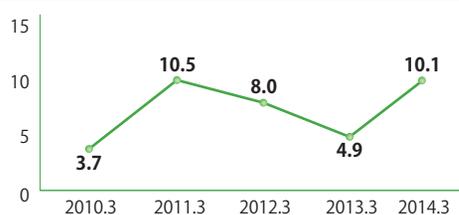
当期純利益 (単位: 百万円)



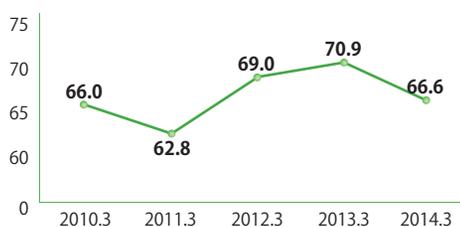
1株当たり当期純利益 (単位: 円)



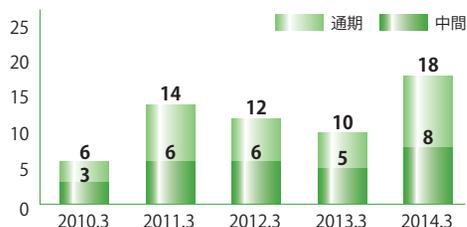
自己資本利益率(ROE) (単位: %)



自己資本比率 (単位: %)



配当金 (単位: 円)



TOPICS 1 喜開理(中国)有限公司の新工場竣工

2013年10月、喜開理(中国)有限公司の新工場が竣工しました。省エネ化のため、全照明にLEDを採用し、最新防犯システムや情報漏えい対策システムの構築によるセキュリティ対策、クリーンルームの設置など、最新の機能がつまった新工場となっています。また、ショールームや営業所が併設されており、生産のみならず、販売拠点としても重要な役割を担っています。中国新工場はグローバルな主要拠点として、アジア地域における事業展開と市場拡大に取り組んでまいります。



TOPICS 2 四日市工場のマザー工場化

機器事業の主力生産拠点である四日市工場をマザー工場と位置付け、事業拡大と効率的生産を実現し市場競争力を上げることを目的に、2015年度までに総額40億円の設備投資を行います。今後ますます多様化するお客様のニーズに対応するため、商品力、生産技術力の向上を図り、海外生産拠点のサポートを強化してまいります。



TOPICS 3 コンテインメントブリスター「FBP-300E-C」

近年、製薬会社では抗がん剤などの高薬理活性剤の生産が増加傾向にあります。高薬理活性剤は人体への影響が大きく、その製造工程においては『薬塵の飛散抑制』『作業者の保護』『他製品への混入防止』を行う必要があります。このようなお客様のニーズに対応した新商品として、コンテインメント(薬塵封じ込め)システムを搭載したコンテインメントブリスター「FBP-300E-C」を発売しました。



TOPICS 4 デュアルレーン対応三次元はんだ印刷検査機「VP5200MD-V」

近年、モバイル通信機器やデジタル家電製品の生産が東アジアを中心に急激に拡大しており、生産ラインの高速化・効率化が求められています。このような背景から、生産形態の2列化も進み従来の検査機では対応できなくなったため、この度デュアルレーン対応機「VP5200MD-V」を発売しました。実装ラインの品質向上と工程改善に貢献できる新商品です。



TOPICS 5 「エコ集積 HCA-440S」「エコバンドBND-180」

2010年に業界最速レベルのエコプリスター「FBP-800E」を発売し、その後、高能力はそのままだに、コンパクトで多品種に対応する柔軟な装置の開発が求められました。このような新たなニーズに対して、従来の高速タイプに加えてコンパクトで柔軟性を追求した、業界最速レベルの包装機「エコ集積 HCA-440S」「エコバンド BND-180」を発売しました。



TOPICS 6 アブソデックス 小型タイプ「AX6000Mシリーズ」

本製品は、業界最小クラスであるため、これまでスペースに限りがあり改善が困難であった工程を最適化することが可能になり、生産性の向上や装置の小型化に大きく貢献します。思い通りの動作を高精度に実現でき、動作時のギア破損やギヤ部の摩耗による精度変化の心配がなく、安定した動作を行うことができます。信頼性が高くメンテナンス無しで長期間使用できる今までになかった小型DDアクチュエータです。



TOPICS 7 電動アクチュエータ「ERL/ESDシリーズ」「ETSシリーズ」

「ERL/ESDシリーズ」は、業界最小クラスのコントローラと簡単に設定・操作が可能な設定ツールを備えており、初めての方でも簡単にご利用いただけます。また、「ETSシリーズ」は、モータレスであるため、お客様が使い慣れたモータを自由に選定し、取り付けて使用いただけます。本製品は、8サイズのバリエーションをそろえ、最大可搬質量は150Kgと業種業界を問わず幅広い分野でお客様に高い評価をいただいております。

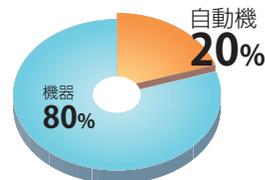


自動機械部門

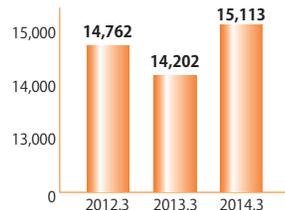
主力商品の薬品自動包装システムは、安全性や生産性向上に向けた設備投資及び医療費削減に向けて、政府が推進するジェネリック医薬品普及促進に関連した設備投資が堅調に続いたため、売上が増加いたしました。また、三次元はんだ印刷検査機は、乗用車の追突事故抑止機能や燃焼消費率改善を目的に、電子部品搭載率が高まる車載用のプリント基板向けを中心に、売上が増加いたしました。一方、リチウムイオン電池製造システムは、車載用と情報通信機器用とも見込まれた設備投資が見送られたため、売上は減少いたしました。

その結果、売上高は15,113百万円(前期比6.4%増)、営業利益は1,944百万円(前期比31.8増%)となりました。

売上高構成比



売上高推移 (単位: 百万円)



● 自動包装システム

〈医薬〉



薬品包装



医療機器包装



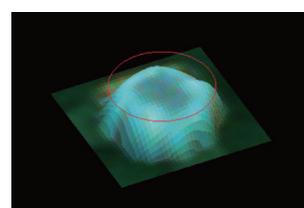
〈食品〉



● リチウムイオン電池製造システム



● 三次元はんだ印刷検査機



機器部門

国内市場は、緩やかながらも製造業の設備投資が増加したことにより、幅広い製造装置向けの売上が増加いたしました。また、国内外半導体メーカーの微細化への設備投資や中国のFPD工場新設により、半導体製造装置とFPD製造装置向けの売上は大きく増加いたしました。

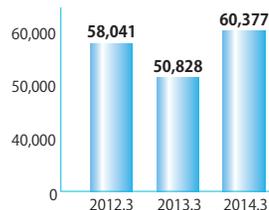
海外市場におけるアジア地域では携帯情報通信機器の設備投資と、半導体・FPD関連の設備投資の増加により売上が増加いたしました。米国では経済回復に半導体設備投資増加が加わり売上が増加いたしました。また、景気が回復してきた欧州地域の売上も増加いたしました。

その結果、売上高は60,377百万円(前期比18.8%増)、営業利益は円安の効果も加わり、8,364百万円(前期比103.6%増)となりました。

売上高構成比



売上高推移 (単位: 百万円)



● ファインシステム機器



● 流体制御機器



● 省力機器



● 空気圧機器

制御機器



駆動機器



電空レギュレータ



関連機器



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当 期 2014年3月31日現在	前 期 2013年3月31日現在	科 目	当 期 2014年3月31日現在	前 期 2013年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	56,739	47,582	流動負債	24,734	16,804
現金及び預金	9,982	7,322	支払手形及び買掛金	10,492	8,035
受取手形及び売掛金	19,548	16,294	短期借入金	1,546	1,789
営業未収入金	2,751	2,355	1年内返済予定の長期借入金	520	1,120
有価証券	4,000	3,000	リース債務	46	47
商品及び製品	3,691	3,915	未払費用	2,541	1,971
仕掛品	2,103	2,072	未払法人税等	2,544	201
原材料及び貯蔵品	10,805	10,192	賞与引当金	101	73
繰延税金資産	1,562	1,167	製品保証引当金	282	293
その他	2,363	1,332	受注損失引当金	218	151
貸倒引当金	△68	△71	その他	6,441	3,120
固定資産	29,971	24,160	固定負債	4,264	4,085
有形固定資産	22,728	18,342	長期借入金	1,380	2,161
建物及び構築物	7,229	7,178	リース債務	31	63
機械装置及び運搬具	5,717	4,547	繰延税金負債	1,049	567
工具、器具及び備品	896	677	退職給付引当金	-	118
土地	4,474	4,463	退職給付に係る負債	165	-
リース資産	75	106	資産除去債務	136	134
建設仮勘定	4,336	1,369	その他	1,501	1,039
無形固定資産	749	823	負債合計	28,999	20,890
投資その他の資産	6,492	4,994	純資産の部		
投資有価証券	5,229	3,932	株主資本	55,057	50,194
退職給付に係る資産	511	-	資本金	11,016	11,016
繰延税金資産	155	178	資本剰余金	12,737	12,737
その他	623	917	利益剰余金	35,913	31,273
貸倒引当金	△27	△33	自己株式	△4,609	△4,832
資産合計	86,711	71,742	その他の包括利益累計額	2,654	658
			その他有価証券評価差額金	1,247	622
			為替換算調整勘定	1,848	36
			退職給付に係る調整累計額	△440	-
			純資産合計	57,712	50,852
			負債純資産合計	86,711	71,742

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:2013年4月1日 至:2014年3月31日	自:2012年4月1日 至:2013年3月31日
売上高	75,491	65,031
売上原価	52,339	48,008
売上総利益	23,151	17,022
販売費及び一般管理費	15,268	13,778
営業利益	7,883	3,244
営業外収益	505	536
営業外費用	251	262
経常利益	8,136	3,517
特別利益	306	3
特別損失	65	18
税金等調整前当期純利益	8,377	3,502
法人税、住民税及び事業税	2,866	808
法人税等調整額	54	241
少数株主損益調整前当期純利益	5,456	2,452
当期純利益	5,456	2,452

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:2013年4月1日 至:2014年3月31日	自:2012年4月1日 至:2013年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	9,754	7,008
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,224	△5,017
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,330	△57
現金及び現金同等物に 係る換算差額	451	286
現金及び現金同等物の 増減額(減少△)	1,651	2,219
現金及び現金同等物の 期首残高	8,180	5,961
現金及び現金同等物の 期末残高	9,831	8,180

連結株主資本等変動計算書 当期(自2013年4月1日 至2014年3月31日)

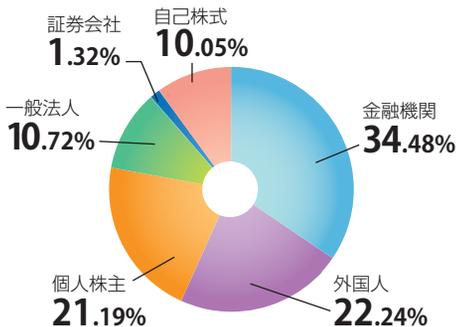
単位:百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	11,016	12,737	31,273	△4,832	50,194	622	36	-	658	50,852
当期変動額										
剰余金の配当			△811		△811					△811
当期純利益			5,456		5,456					5,456
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		△0		223	223					223
従業員奨励福利基金等			△3		△3					△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						625	1,811	△440	1,995	1,995
当期変動額合計	-	△0	4,640	223	4,863	625	1,811	△440	1,995	6,859
当期末残高	11,016	12,737	35,913	△4,609	55,057	1,247	1,848	△440	2,654	57,712

会社概要

株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数 233,000,000 株
 発行済株式総数 69,429,349 株
 株主数 8,553 名
 所有者別株式数の分布



大株主 (2014年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,156	9.86
CKD持株会	2,977	4.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,832	4.54
住友生命保険相互会社	1,914	3.06
三井住友海上火災保険株式会社	1,610	2.58
株式会社三井住友銀行	1,581	2.53
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,560	2.50
CKD協力企業投資会	1,491	2.39
第一生命保険株式会社	1,400	2.24
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG	1,134	1.82

(注) 上記持株比率は自己株式を除いて計算しております。

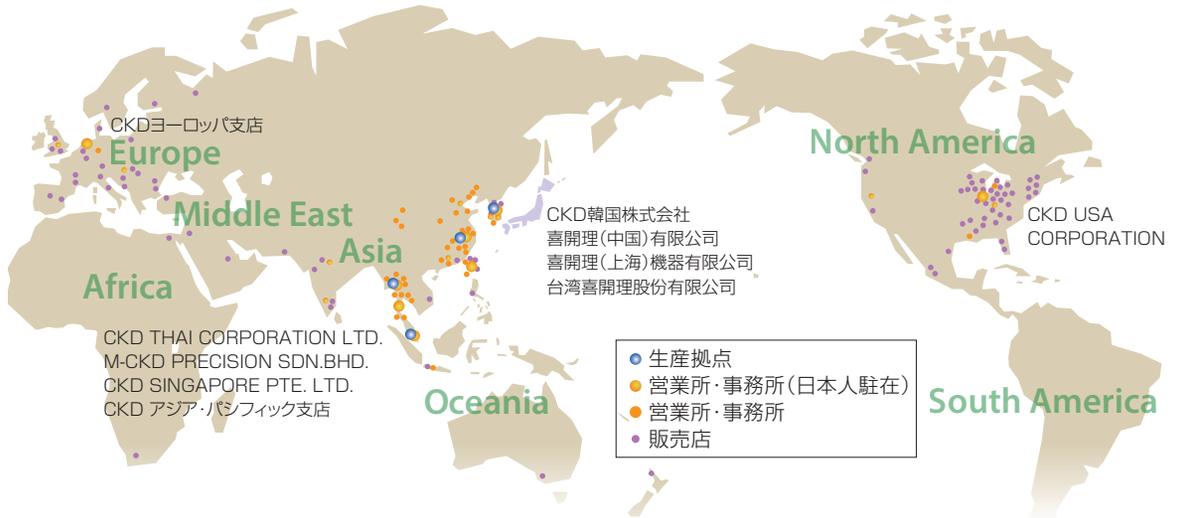
会社概要 (2014年3月31日現在)

社名 CKD株式会社
 設立 1943年4月2日
 資本金 11,016,380,748円
 本社 〒485-8551
 愛知県小牧市応時二丁目250番地
 代表電話: (0568)77-1111
 従業員数 1,966名(連結3,166名)
 主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

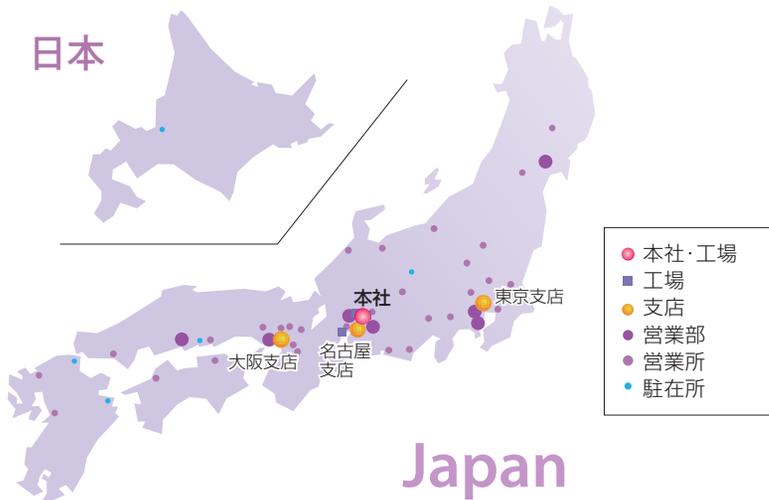
役員 (2014年6月20日現在)

取締役	執行役員
代表取締役社長 梶本 一典	常務執行役員 野澤 好令
代表取締役 野澤 好令	常務執行役員 金田 堅
取締役 徳田 重友	常務執行役員 塚原 正彦
取締役 内永 恭一	執行役員 徳田 重友
取締役 西尾 竜也	執行役員 内永 恭一
社外取締役 高畑 千秋	執行役員 西尾 竜也
社外取締役 加川 純一	執行役員 高橋 卓也
	執行役員 山内 吉一
	執行役員 種瀬 雅久
監査役	
常勤監査役 坪井 和巳	執行役員 小島 章裕
社外監査役 林 公一	執行役員 市村 理明
社外監査役 南谷 直毅	執行役員 湯原 真司
社外監査役 澤泉 武	執行役員 岩田 徹

グローバルネットワーク



国内ネットワーク



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。(http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所及び名古屋証券取引所 市場第一部 (証券コード6407)
ホームページアドレス	http://www.ckd.co.jp/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(ホームページアドレス)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

自動化で未来を拓く

CKD

